



エコアクション21

環境経営レポート

山口技研(株)

令和6年06月17日作成

令和6年11月29日改訂

(実施期間令和5年3月~令和6年2月)

目 次

1. 環境経営方針	3
2. 組織の概要	4
1) 事業所名及び代表者氏名	
2) 所在地	
3) 事業活動の内容	
4) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先	
5) 事業の規模	
3. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	
実施体制	5
4. 環境経営目標	6
5. 環境経営計画	7
6. 環境経営目標の実績	8
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、今後の取組内容	9
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価結果と違反、訴訟等の有無	11
9. 代表者の全体評価と見直し結果・指示	12
10. 今後の環境経営目標（令和4年度～令和6年度）	13

1・環境経営方針

環境経営方針

< 基本理念 >

山口技研株式会社は自動車用計器の付属品の設計・製造の事業活動を通じて地球環境に優しい企業を目指し、地球温暖化防止と循環型社会の実現に向け継続的な環境保全活動に取り組みます。

< 基本方針 >

1. 環境関連法規及び当社が同意する要求事項を遵守します。
2. 省エネルギーにより二酸化炭素排出量を削減します。
3. 省資源・リサイクルにより廃棄物を削減します。
4. 節水により水使用量の削減に取り組みます。
5. 事務用品、資材等のグリーン購入に努めます。
6. 環境に配慮した製品の製造を通して社会貢献に努めます。
7. この方針を全社員に周知徹底します。
8. 業界への人脈と高い信用性を活用し他社との技術マッチングにより高品質で環境に優しい製品製造を目指します。

制定日 平成 23年4月1日

改訂日 令和 5年6月10日

山口技研株式会社

代表取締役 山口哲生

2. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者氏名

山口技研株式会社

代表取締役会長 山口光男

電 話 0568-33-1707 F A X 0568-33-5631

2) 所在地

本 社 : 愛知県春日井市中野町2丁目17-8

電 話 0568-33-1707 F A X 0568-33-5631

3) 環境管理責任者の氏名

環境管理責任者 山口哲生

連絡先: 本社 0568-33-1707

電 話 0568-33-1707

F A X 0568-33-5631

E-mail sensor.yamaguchi@nifty.com

4) 事業活動の内容

自動車等の速度計器関連部品の設計・製造・販売

5) 事業規模

法人設立年月日 昭和54年3月17日

資本金 1000万円

従業員 7人 (令和6年3月現在)

敷地面積 180㎡ (床面積 310㎡)

3. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

対象組織 全社

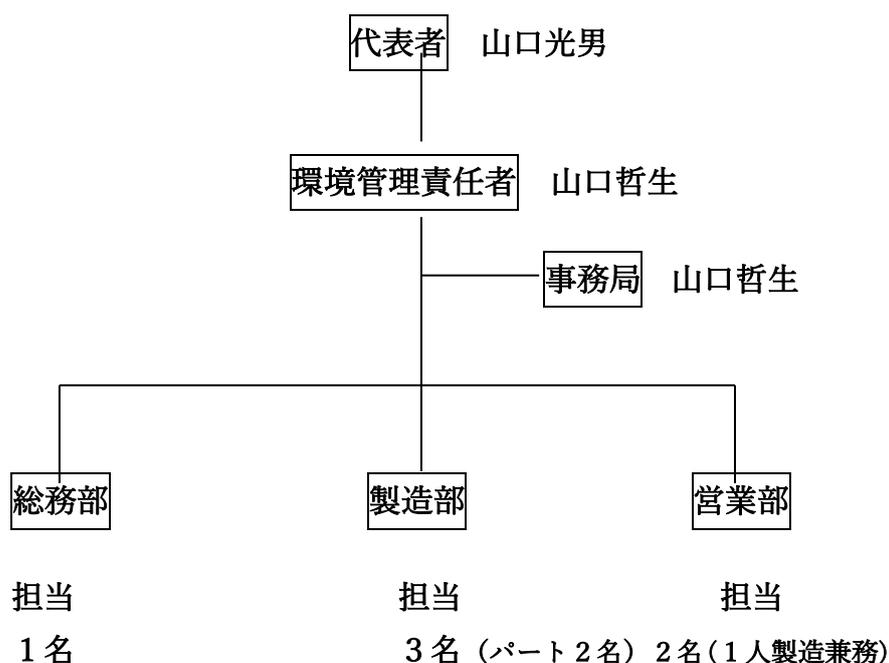
対象活動 事業活動と同じ

レポート対象期間 令和5年3月～令和6年2月

レポート発行日 令和6年6月17日

実施体制

(総数7人)



役割・責任・権限

役割	責任・権限
代表者	環境経営方針作成、環境管理責任者任命、資源用意、システム見直し
環境管理責任者	E A 2 1 総責任者、E A 2 1 構築・運用、維持 システムの適合性、運用状況監視
事務局	全体計画立案、文章作成・管理、環境教育計画・実施、EMS事務管理
各部従業員	E A 2 1 運用実施、実施状況確認・記録

4. 環境経営目標（令和4年度～令和6年度）

山口技研株式会社は自動車等の速度計器関連部品の設計・製造・販売における事業活動から以下に環境負荷項目を削減目標と示します。

環境負荷項目	令和2年度 実績（基）	令和4年度 削減目標1%	令和5年度 削減目標2%	令和6年度 削減目標3%
二酸化炭素排出量の 削減：k g-CO2	13844	13706	13567	13429
廃棄物排出量 の削減：k g	70.0	69.3	68.6	67.9
資源ごみの発生数量 削減：Kg	1562	1546	1531	1515
水使用量の削減：m3	27.0	26.7	26.5	26.2

グリーン購入促進	—	調査・購入促進	購入促進	購入促進
製品・製造への 環境配慮	—	設計・製造時環境配慮 環境負荷物質管理	設計・製造時環境配慮 環境負荷物質管理	設計・製造時環境配慮 環境負荷物質管理
社会貢献活動	清掃活動の実施 1回/月	清掃活動の実施 1回/月	清掃活動の実施 1回/月	清掃活動の実施 1回/月

- 環境目標：令和2年度実績を基準値とし、令和4年度削減目標1%（対基準値）、毎年削減率1%増とします。
- 目標項目
 - 二酸化炭素排出量は、電気使用量、化石燃料としてガソリン使用量、灯油使用量及び都市ガス使用量の合計とする。また、購入電力の二酸化炭素排出係数は中部電力の平成28年度係数0.485kg-CO2/kWh（調整前）を採用します。
 - 廃棄物排出量は、一般廃棄物とします。
 - 水使用量は、上水使用量がそのまま下水道へ排水されるものとして対応します。
 - 上記削減目標のほか、事務用品・資材等のグリーン購入と環境に配慮した製品の開発・製造に関してはその推進を目標とします。
 - 他に社会貢献活動として数値目標は設定せず会社周辺の清掃活動を実施します。
 - 化学物質は製品パッキン剥離剤で使用量100g以下/年なので対象外としています。

5. 環境経営計画

令和5年度 環境経営目標		令和5年度取組内容 実施期間：令和5年3月～令和6年2月	担当部 署
二酸化 炭素排 出量の 削減	電力使用量 基準年比2% 削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順作成、節電ラベルの貼付 ・ 節電の実施（不要照明OFF） ・ エアコン温度管理の徹底 ・ フィルター清掃 年2回 ・ 製造設備不稼動時電源OFF ・ コンプレッサーエアー漏れチェック 	経理 営業 製造
	化石燃料使用量 基準年比2% 削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順作成 ・ エコドライブの実施 ・ アイドリングストップの実施 ・ 車両の運行管理及び点検整備 ・ 灯油使用管理 	営業 製造
廃棄物排出量の削減 基準年比2%削減		<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順作成 ・ 分別ボックス設置 ・ ラベル添付 ・ 廃棄物の分別の徹底 ・ シュレッダーゴミの干渉材使用 ・ 廃材の再利用・リサイクル ・ 指定運搬容器の利用及び包装(ダンボール等)の再利用 	経理 製造
水使用量の削減 基準年比2%削減		<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書作成 ・ 節水ステッカー貼付 ・ トイレにペットボトル浸漬 ・ 手洗節水の徹底 ・ 水漏れ点検 	経理 製造
グリーン購入の促進		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務用品のグリーン購入 ・ 資材・副資材グリーン購入 	全社
製品・製造への環境配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・ 製品設計、製造の環境配慮 ・ 環境負荷物質適正管理 ・ I M D S 整備(インターナショナル材料データベース) 	営業 製造
社会貢献活動		<ul style="list-style-type: none"> ・ 会社周辺の清掃活動 月1回 	全社
環境管理責任者確認			山口

6. 環境経営目標の実績

環境負荷		令和2年度 実績(基準年)	令和5年度 目標基準比 2%減	令和5年度 1年間実績	達成度 基準年比増減 (%)	評価 ○×
二酸化炭素排出量の削減 kg-CO2		13844	13567	14290	3.22%	×
総エネルギー 使用量	電気使用量 (kWh)	22654	22201	23918	5.58%	×
	灯油使用量 (L)	0	0	0	-	-
	ガソリン使用量 (L)	1212	1188	1142	-5.78%	○
	都市ガス使用量 (m3)	21.0	20.6	19	-9.52%	○
廃棄物排出量の削減 (kg)		70.0	68.6	87	24.29%	×
資源ごみ発生量 (Kg)		1562	1531	1081	-30.8	○
水使用量の削減 (m3)		27.0	26.5	30	11.11%	×
グリーン購入調査・購入促進 (グリーン調達への対応)		—	購入促進	購入促進	達成	○
製品・製造の環境配慮		—	設計・製造環境 配慮環境負荷 物質管理	図面に環境負荷 物質フリーを注 記・検査項目に 追加	達成	○
地域貢献活動		周辺の清掃活動 1回/月実 施		1回/月 実施	達成	○

購入電力の二酸化炭素排出係数は中部電力の平成28年度係数 0.485kg-CO2/kWh を採用します。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

1) 二酸化炭素排出量

- ① 取組結果・評価：二酸化炭素排出量は、総量で 3.22%増加し、電気使用量も 5.58%増加してしまいました。
その要因として、NC 機械の稼働率が上がった為だと思われます。
都市ガス使用量は、9.52%削減し
ガソリン使用量も 5.78%削減する事が出来ました。

② 次年度の取組内容

- ・ 経理・製造：エアコンの設定温度管理（夏：28℃±1℃ 冬：20℃±1℃）徹底
製造設備の適切な運転ON, OFFの徹底した実施
- ・ 営業：業務用車両の急発進・急加速・急ブレーキの禁止
：自転車通勤の促進（車両を一部通勤に使用）
- ・ 経理・営業：ドライバーのエコドライブの徹底、

2) 廃棄物排出量（廃棄物の内の資源ごみ:リサイクル原料となる金属有価物）

- ① 取組結果：廃棄物排出量は可燃ごみ（一般廃棄物）とし
今年度の目標は基準比2%削減と設定して取組んだ結果、可燃ごみは
基準比で 24.29%増加しましたが、資源ごみは 30.8%削減しました。
- ② 評価：分別BOXの設置、ラベルを添付し、分別はチェック表で
徹底しましたが、取引先の段ボールの中敷き等の増加の為増えてしま
いました。
資源ごみ（鉄屑（切粉）/有価物）は取引先の変更や加工先の変更等により
加工条件が大きく変わり、金属屑が増加したが前年度よりは 6.4%削減し
ました。

③次年度の取組み内容

- 経理：コピー用紙使用量の削減の徹底（裏紙の利用、両面印刷の徹底）
製造：資源分別の徹底、廃材の再利用の徹底を継続します。
ただ、資源ごみ(金属屑/有価物)は、製品加工方法や加工量により変動するた
め次年度以降も数値目標は参考値として評価する。なお、産業廃棄物は発生
していません。

3) 水使用量

- ① 取組結果：水使用量は目標2%の削減に対し11.11%増加してしまいました。但し、増加量は年間で3m³です。
- ② 評価：節水ステッカーの貼付、トイレにペットボトルを浸漬、漏水の定期点検など会社全体の意識革命も進み少しずつですが変わってきたと思います。
- ③ 次年度の取組み内容：手洗節水の徹底や水溶性切削水などは、分離機などを通して水の再利用を推進して行きたい。

4) グリーン購入の促進

- ① 取組結果：グリーン購入品としてカウネットより購入事務用品を取捨選択し購入促進した。
- ② 評価：グリーン購入品の促進、環境負荷物質クリアー品などを決められた購入先より品番、品名を表から選び出し事務用品の固定化に努めるようになった。
- ③ 今後の取組内容：事務用品、資材、部品等を購入する場合は、購入ルールを守り決められた購入先より購入するようにする。

5) 製品・製造への環境配慮

- ① 取組結果：製品設計、製造において取引に伴う環境配慮の提案をし環境負荷物質適正管理を実施し継続可能な体制を構築した。
- ② 評価：図面に環境負荷物質フリーを注記し、検査項目に追加した事により顧客の信用性が向上した。
- ③ 今後の取組内容：新規の製品開発において、環境配慮の提案を継続してきたいと思います。

- 6) 地域貢献活動として会社周辺清掃活動を、今後とも月度1回以上実施します。

8. 境関連法規等の遵守状況の確認・評価結果と違反、訴訟等の有無

以下に遵守状況の確認・評価をしました。

確認評価の結果は環境に関する苦情、違反、訴訟等の指摘はありませんでした。

なお、過去3年間とも上記指摘はございませんでした。

法規制等の名称	遵守項目	遵守評価確認
廃棄物処理法	廃棄物分別手順と保管場所の掲示	遵守
	可燃ゴミの持出し重量記録表記載	遵守
家電リサイクル法	回収業者への委託 リサイクル券の保管	*
自動車リサイクル法	回収業者への委託 リサイクル券の保管	*
フロン排出抑制法	フロン回収登録業者への委託 業務用エアコン廃棄 フロン漏れ簡易点検の実施	遵守
グリーン購入法	事務用品の購入	遵守
	製品加工副資材の購入	遵守
愛知県生活 環境保全条例	騒音発生施設の届出 2011/5/30 規制値の遵守	遵守 遵守
その他の要求事項	協力会社のグリーン調達ガイドラインの 遵守（IMDSの整備・遵守）	遵守
毒物劇物取締法 PRTR法	対象物:パッキン剥離剤/年間数百グラム 使用:成分:2 ブタノン	遵守

*当該期間に特定家電の破棄、廃車、フロン含有エアコンの廃棄はありません。
環境関連法規の遵守評価は令和6年2月28日に環境管理責任者が確認した。
毒物劇物取締法・PRTR法対策物質は、製品パッキン剥離剤:使用量はごく少量
(200g/年)です。

9. 代表者の全体評価と見直し結果・指示

令和6年6月17日

代表者山口光男

1. 見直し内容（環境管理責任者報告）

- ・環境経営目標の達成状況：環境目標の実績評価で確認一部未達事項有を確認
- ・環境経営計画の実施状況：取組チェック表で適正実施を確認
- ・環境法令等の遵守状況：法令遵守確認表で確認
- ・環境経営システムの運用状況：P D C Aの適正運用を確認

[環境管理責任者：改善の提案]

・

2. 変更の必要性

環境経営方針	不要・要
環境経営目標	不要・要
環境経営計画	不要・要
実施体制	不要・要
環境経営システム	不要・要

[変更の理由]

電力の二酸化炭素排出係数の最新値の変更及び加工設備の増設による電力使用量の増加の為環境経営目標を変更する。

3. 改善のための方策、結論、勧告等 環境管理責任者への指示事項

今年度は、ガソリン使用量、ガス使用量、の2項目が目標を達成する事が出来ましたが、二酸化炭素使用量、電気使用量、廃棄物排出量と水使用量は増加してしまいました。なお、環境経営目標は直近年（令和5年度）実績を基準とし3カ年の中期目標を策定する。購入電力の二酸化炭素排出係数は最新版の令和4年度中部電力ミライズの調整後の値（0.459Kg-CO2/KWh）とする。

10. 今後の環境経営目標（令和6年度～令和8年度）

環境負荷項目	令和5年度 実績（基準値）	令和6年度 基準比1%削減	令和7年度 基準比2%削減	令和8年度 基準比3%削減
二酸化炭素排出量の 削減：kg-CO ₂	13668	13531	13395	13258
廃棄物排出量の削減 （可燃ごみ）：kg	87	86.1	85.3	84.4
資源ごみの発生数量削 減：kg	1081	1070	1059	1049
水使用量の削減：m ³	30.0	29.7	29.4	29.1

グリーン購入促進	購入促進	購入促進	購入促進	購入促進
製品・製造への 環境配慮	設計・製造時環境配慮 環境負荷物質管理	設計・製造時環境配慮 環境負荷物質管理	設計・製造時環境配慮 環境負荷物質管理	設計・製造時環境配慮 環境負荷物質管理
社会貢献活動	清掃活動の実施	清掃活動の実施	清掃活動の実施	清掃活動の実施

1. 環境目標：令和5年度実績を基準値とし、令和6年度以降、基準値に対し毎年削減率1%増とします。
2. 目標項目
 - 1) 二酸化炭素排出量は、電気使用量、化石燃料としてガソリン使用量、灯油使用量及び都市ガス使用量の合計とする。
また、令和5年度の購入電力（基準値）の二酸化炭素排出係数は0.459Kg-CO₂/KWh（中部電力ミライズ2022年度実績調整後）を採用します。
 - 2) 廃棄物排出量は、可燃ごみのみ対象とします。資源ごみ削減とします。
 - 3) 水使用量は、上水使用量がそのまま下水道へ排水されるものとして対応します。
 - 4) 上記削減目標のほか、事務用品・資材等のグリーン購入と環境に配慮した製品の開発・製造に関してはその推進を目標とします。
 - 5) 他に社会貢献活動として、数値目標は設定していないが会社周辺の清掃活動を実施します。
 - 6) 化学物質は製品パッキン剥離剤で使用量200g/年と少量なので適正管理とし目標対象外としています。